

社会福祉法人 三愛学園

〒369-0212 埼玉県深谷市榎挽 15-2

Tel 048-585-0605 Fax 048-585-0562

Mail san-ai@isis.ocn.ne.jp

URL san-ai-jidouyugo.org

HPはこちらから→



児童養護施設さんあい

一時保護所オリーブ（男子・女子）

自立援助ホーム三愛子ひつじ寮



施設長交代のお知らせ

3月23日の理事会に於きまして、新施設長を選任いただき私の施設長としての役割は3月31日をもちまして終了いたしました。今まで支えて下さった皆様に心より感謝申し上げます。今回の施設長交代時期は私の中では計画されていたことでありました。



三愛学園理事長
高瀬 一使徒

私は施設長になった時点より次の施設長にバトンを渡すベストな時期を考えていました。聖書のマタイによる福音書23章に以下のような言葉があります。「だが、あなたがたは『先生』と呼ばれてはならない。あなたがたの師は一人だけで、あとは皆兄弟なのだ。」施設長の仕事には大きなリーダーシップが必要です。そして真のリーダーシップは仕える者でなければならないとイエス・キリストは教えます。しかし人は弱い者です。周りから頼られ「先生」と呼ばれ続けていると「私は敬意をはらわれるべき人物」なのだと思わず知らず高慢になってゆくことに気づきます。これは私の望むことではありませんし、周りにも迷惑を掛けることになりかねません。また、施設長になって2年目で悪性リンパ腫という血液のがんにかかり、約半年間の休職を余儀なくされ職員と法人全体に多大なご迷惑を掛けることになってしまいました。ですので、がんが癒えて復帰してからは、いつでも次にバトンを渡せるよう次期施設長の候補を見つけて育てることを最優先事項としてきました。そして3年前に前の職場の後輩であった平本さんに来てもらい施設長として役割を果たせるよう育成支援をしてまいりましたが、今では十分に施設長の役割を果たせるまでに成長していただいたと感じています。

最後にがんを経験してから神様から与えられている「自分の持ち時間」を意識するようになりました。そして与えられている時間の中で、与えられている賜物や経験を十分に生かし、与えられている役割を果たして行こうという思いが一層強くなりました。ですので、許されれば暫く理事長職に留まり法人7か年計画や2026年の三愛学園創立50周年記念事業に注力してゆきたいと考えています。さらにはタイにおいて社会的養護の必要な児童のために小さなホームを設置したいというビジョンもあります。このような訳で今後しばらくは週4日間勤務し平本新施設長を支え法人全体の働きを担うつもりです。どうか皆様も新施設長を盛り上げ支えて頂けますよう、心よりお願い申し上げます。これらすべては神様の導きの中にあると信じています。



就任のごあいさつ

児童養護施設さんあい 施設長 平本 実

この度、高瀬前施設長の後任として施設長を拝命しました。理事会の負託、高瀬前施設長の期待、創設者である高瀬ご夫妻の願い、卒園生を含む子どもたちや職員の思いを考えると身が引き締まります。

私は、父が東京の児童養護施設に勤務をしていた関係から、幼い頃から施設に暮らす子どもたちや職員を通して児童福祉の現場や仕事に触れて育ちました。施設職員の家族とはいえ、当時の施設は家族も巻き込まないと仕事にならない状況で、長期休みや年末年始は、家族との交流や外泊のできない子を職員の家で受け入れて過ごすことが当たり前でした。私が大学生になり家を出ていくまで、年末・年始は必ず施設の子と一緒に過ごしていたことを記憶しています。

大学では社会福祉を学びましたが、卒業後、日本国内の福祉現場に出ず、福祉従事者の教育に携わった後、海外／開発途上国の人々の福祉に携わる仕事をしてきました。4年前、高瀬理事長に声をかけていただき、日本国内の現場であるさんあいです仕事をしようになりましたが、フレッシュな気持ちと同時に、懐かしい場所に帰ってきたような思いでこの3年を過ごしてきました。それまで国内外の様々な場所、組織で異なる背景、経験を持つ方たちと一緒に働いてきましたが、さんあいにはそのいずれにも勝るとも劣らぬ素晴らしい方たちが働いています。そのような方々と引き続き一緒に働き、私自身も成長をしていきたいと思っています。

アメリカの神学者ラインホルド・ニーバーは、その祈りの中で「守る決意、変える勇気」の重要性を説いています。パナソニックの創業者、松下幸之助氏も、これと同じことを経営の哲学としています。変えてはいけない理念、時代の変化によって変わらなければいけない手法、があるということです。

さんあい設立されて今年で47年。私も含めて多くの職員が、高瀬美武・初代園長先生と実際にお目にかかったことがありません。その高瀬美武先生が大切にしてきたものが、キリスト教主義です。このキリスト教主義は、まさに「変えてはいけない理念」です。私は、これをかたく守る決意です。

それから、高瀬美武先生自身が児童養護施設の出身者であったこと。さんあいはまさに「当事者の体験、当事者の思い」からできた施設です。当事者の声に耳を傾ける、当事者の思いが優先される、当事者こそが主役である、まさに権利擁護の視点です。これも大切なさんあいの「原点」だと思います。

一方、時代は着実に変化をしています。私が学生だった当時、子どもにとって福祉は権利ではありませんでした。子どもたちはクライアントと呼ばれ、「援助してあげる対象」とされました。2016年に「児童福祉法の一部を改正する法律」が公布され、初めて「子ども（児童）の権利」という文言が法文の中に盛り込まれました。現代は、権利のことを語らずに福祉を語ることはできない時代です。隔世の感があります。

これ以外にも体罰の禁止、発達障害など障害に対する視点が広がったこと、虐待の増加、子どもの貧困、少子化など数十年の間に子どもを取り巻く事柄は大きく変化をしています。時代の変化によって変わらなければいけない手法があります。勇気を持って、「変えるべきものを変え」ていきたいと思っています。

皆様の日々の祈りの中に、さんあいのこと、またこの小さい者の働きのことも加えていただきますようお願いいたします。

新年度によせて

三愛学園理事長 高瀬一使徒

5月8日から新型コロナウイルスが2類から5類に移行することは法人の新年度の方針に大きな影響を及ぼしています。当然ですが、新年度は子どもたちの生活はコロナ禍前の状態に戻して行きます。病気や規定以外の児童の検温や行動制限等は撤廃していきます。また、当法人にとって大切なさんあい祭り(創立記念祭)も復活いたします。このお祭は地域貢献の時であります。今までお世話になった方々に対する感謝を表す時であり、卒園した児童や退職した職員の再会の時でもあります。また、各ホームで出店の準備をしますが、それが子どもと職員との距離を縮める時にもなります。そして法人にとって重要かつ最大のイベントに全職員が関わることで、組織の一体性も醸成されます。このようにさんあい祭りが法人全体にもたらすものは想像以上に大きいものです。逆説的に言えば、この重要なイベントを3年間できなかった負の影響も大だったのではないかと考えています。因みにコロナ禍が始まった2020年以降の業務拡大に伴う職員の増員で、なんと全職員の半数近くが創立記念祭を経験していないという事実も明らかになりました。ですので、この良い伝統をしっかりと継承してゆかなければなりません。そして今年度はコロナ禍の終焉をお祝いする意味でも盛大なお祭りになるよう心して準備をしていきたいと思



います。

さて令和5年度も改革改善の年にしなくてはなりません。児童福祉を取り巻く環境の変化は益々大きくなっています。国レベルでは今年度より「こども家庭庁」がスタートします。具体的にそのことが児童養護施設と自立援助ホームにどのような影響をもたらすのか現時点ではわかりませんが、大きな変化のうねりを感じずにはいられません。また施設の地域分散化、里親委託の促進、職員確保の困難さの流れは加速的に進んでいます。特に職員確保の困難さは肌で感じています。ですので、それらの変化に対応できる組織への移行に歩みを止めることはできません。今からしっかりと準備していくことが子どもたちのためになり、職員のためになると確信しています。この改革改善を具体的に推進するのは、3つの新しいタスクチームです。「働き方改革チーム」、「タイムカード導入チーム」、「IT改革チーム」です。そして更に「子どもの権利擁護チーム」により子どもが大切にされていると感じるような処遇や個別化等の方法を探って行きます。自立援助ホーム三愛子ひつじ寮では、法人理念をホームに於いてどのように適用し具体的な運営指針に落とし込んでゆく作業を1年かけて行います。法人職員は自分の職務を誠実に遂行する方々ばかりです。新年度もこの誠実さをもって様々な困難を乗り越えてくれると確信しています。

最後に当法人の創設者である高瀬範子前理事長は節目節目に、「この法人は私たち夫婦がイエス・キリストの教えに推されて創設したのだから、その精神(三愛精神)は今後も大切にしたい。」と助言下さいます。この言葉を心に刻み、令和5年度も三愛精神を継承する者として心新たに臨む所存です。

新任職員紹介

新しくさんあいの職員になりました。
よろしくお願いします！

- ① 出身地
- ② 地元（出身地）のおすすめは？
- ③ 趣味
- ④ 特技
- ⑤ こんな職員になりたい
- ⑥ 自己PR

- ① 大阪府
- ② 賑やかで、世界遺産登録された古墳があります！
- ③ 映画をみること、SnowMan をみること。
- ④ 10年間バスケットボールをしていました。
- ⑤ 笑顔で話しやすい職員。
- ⑥ 新社会人として遠方から引っ越し、右も左もわからなかったのですがさんあいに来てから毎日が楽しいです！これからも職員として笑顔を忘れず奮闘していきます！

- ① 栃木県
- ② 個人的には日光と那須がお気に入りです。宇都宮は色々な餃子の食べ比べが楽しいです！
- ③ 旅行、公園や庭園巡り、カフェ巡り。
- ④ 異文化コミュニケーション、タイ料理を作ること。
- ⑤ 子ども一人ひとりの強みを見つけ、引き出すことのできる職員。
- ⑥ 今まで色々な仕事をしましたが、児童養護の仕事は初めてです。皆さんに助けをいただきながら少しずつ仕事に慣れていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします！



坂本 朋子
(FSW)



上田 瑞季
(ねむの木)

- ① 栃木県
- ② あしががフラワーパークや日光東照宮など、観光スポットが多い。
- ③ 青空や花の写真を撮ること。
神社などの歴史的な場所の観光をすること、水族館に行くこと。
- ④ グラタン、肉巻き、ピーマンの肉詰めを作ること。絵を描く事。
- ⑤ 子どもや職員のどんな悩みにも真剣に寄り添う職員。
- ⑥ 「ひとの為に一生懸命」が自分のモットーであり、自分の良いところ（オリーブ男子）であると考えています。精一杯 頑張りますので、よろしくお願いいたします。



千葉 結叶

- ① 茨城県
- ② おいしい食べ物は、給食の時だけ出る芋まんが人気です！
おススメポイントは、牛久大仏です。
- ③ 音楽を聴くこと、映画を観ること、料理をすること。
- ④ 小学生のころからバスケットをやっていたのでバスケットが得意です。
- ⑤ 笑顔で話しやすい奥木リーダーのように周りのことをきちんと見ていて、話していて楽しいけどダメな部分はきちんと注意する職員。
- ⑥ 比較的明るい性格だと思います(笑)茨城弁が出て「何言ってるの？」と思うこともあるかもしれませんがその時は聞いて下さい(笑)仕事に慣れるまでご迷惑かけてしまうかと思いますが、これからもよろしくお願いいたします！好きな食べ物は、もんじゃ焼きとうどん、フルーツです！！



杉浦 未夢
(ひのき)

- ① 東京都足立区
- ② 実家の花屋です。
- ③ 音楽・映画鑑賞・釣り
- ④ 最近ギターを始めました。
- ⑤ 子どもの気持ちに寄り添える職員
- ⑥ 精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします！



細井 浩司
(子ひつじ寮)

入園・入学を祝う会

4月15日(土) 保育園・小学校・中学校・高校へ入園、入学、進学した子ども達をお祝いする会が開かれました。美味しいお料理を食べながら、子ども達の門出を皆で喜び、新任職員による出し物で大いに盛り上がる、楽しいひと時を過ごしました。祝う会終了後は、頂き物で沢山集まったぬいぐるみなどを景品にした、ビンゴ大会が行われました。大きなぬいぐるみを抱えて、可愛らしい笑顔がたくさん見られました。新しい環境になりますが、楽しみながら前進してほしいと職員一同願っています。

入園したNちゃん



新任職員による出し物：クイズ大会



小学校に入学した S君とH君
2人ともテストを頑張りたいそうです。

【頑張りたい事】

<中学校入学>

K君 部活・授業

Rさん 部活・勉強

<高校入学>

Sさん 絵を上手に描けるようになりたい

ビンゴ大会



どれにしようかな～？
沢山あって迷ってしまいます。



お目当てをもら
えて大満足♪

今年は開催します!!
三愛学園創立記念祭「さんあい祭り」
2023年6月4日(日)10:30-14:30

社会福祉法人三愛学園創立記念
2023年 さんあい祭り
6月4日(日)
10時半～14時半
場所：児童養護施設さんあい

※車庫あり、雨天の場合は開催中止して実施します

アトラクション
ギョースタンスや織子踊りなど予定をしております。ご期待

子どもたちのお店
景品付きゲームくじ引き等、
ミニバザー
取り出し物多数！
※売り上げの一部は、タイの貧困家庭の子ども達の支援にあてます。

模擬店
カレー、フランク、焼きそば、かき氷、飲み物、ヨーヨー、木工、焼きまんじゅう 等

販売・体験コーナー
エスニック料理、野菜販売、マッサージ・コーナーなど予定しています。

男の子オリーブ

開所2年目となり、新たなスタートです。年度末と年度始めということもあり、入退所が続きました。4月4日に3人の子供達と滑川町にある森林公園に行ってきました。花見外出という名目でしたが、今年は桜の開花が早く、残念ながら見頃は過ぎてしまっていました。しかし、天気にも恵まれ、自転車で乗ったり、遊具で遊んだりと楽しく親睦を深めることができました。子供達の興味関心にアンテナをはり、様々な体験を皆で共有していきたいと思えます。(柳井)

子ひつじ寮

さんあいの男の子ブロックで約5年勤務し、産休育休を経てオリーブのケアワーカーとなり、今年から自立援助ホーム三愛子ひつじ寮の事務として働くことになりました。自立援助ホームでは15歳で仕事へ行っている子もいます。子ひつじ寮の子供たちには様々な苦悩があり毎日を必死に生きています。事務なので子供達と関わる機会は少ないですが、子供達の自立に向けて職員として何ができるのかを考えながら仕事に励みたいと思えます。(川崎)

看護師お仕事体験会

春休みの一日、ワクノビ・クラブでは、今年もお仕事体験会を実施しました。ただし講師は外部から招くのではなく、園で勤務する青木看護師が担当。子供たちは看護師の役割や楽しさ、難しさ、資格の取り方などについて話しを聞き、続いて血圧や脈拍の測定、聴診器で心音を聴いたり、白衣を着てなりきり体験をしたりしました。「このまま病室で仕事ができそう!」「みんなの中から看護師になる人が出たら良いな」・・・講師の言葉です。(平本)

いちじょうの広場



アニマル・クラブ

今年もアニマル・クラブのメンバーは元気一杯!「トト!よーいどん!」と犬達と走りながら楽しそうな声が響きます。新しく迎えたウサギ3羽のお世話も、大切に丁寧にしています。毎日の動物のお世話は子供達に癒しを与えてくれるだけではなく、責任感もしっかりと育ててくれていると実感しています。今年動物達とどんな楽しい事をして過ごそうかなと考えるとわくわくが止まりません♪(村尾)

旅立ちの時

東京では桜が満開となった3月のある日。今年4名の子供たちが高校を卒業して園を退所しました。みんな小さい頃からここで暮らしてきたので、離れる時には大人には計り知れない想いを秘めているに違いありません。クールに去る子、号泣する子、静かに泣く子、みんな様に別れがづらい。同じように生活を共にした職員のお別れの辛さも並大抵ではありません。でも前に進まなければなりません。これからいろいろな困難が待っているかもしれません。耐えられない時は職員を頼っても良いんです。そして一步一步成長して、ここで生活した時よりもっと幸せになることを切に願います。(ブログより)

思いやりキャンペーン

さんあい7か年計画のひとつ「挨拶、ありがとう、ごめんなさいを言い合う文化醸成の強化」を目指し、春休み前後の約3週間にわたって「思いやりキャンペーン」を実施。審査員を設け、賞品を用意し、ホームごとに協力して競争することで子供も職員も明らかに今までよりも相手を思いやる言葉が増えたと多くの方が評価してくれました。キャンペーンは終了しましたが、誰かを思いやる言動や気持ちに対し、私たちも褒めることや感謝することを忘れずに文化醸成を目指したいと思います。(青木統括)

いつもあたたかいご支援ありがとうございます。

ご寄付は右記の口座をお願いします。

お名前をお入れください

埼玉りそな銀行 岡部支店(普) 0058888

〆) サアガ ケソ リツ チョウカカス 外

編集後記

あつという間に柔らかな色合いの桜の季節が過ぎ、清々しい新緑の季節になってまいりました。この2年間、この時季に何か物足りないと思っていた事。それは新年度が明けると、慌ただしくも楽しんで行っていたさんあい祭りの準備でした。今年はやっと、以前のように賑やかなさんあい祭りを開催できます。3年ぶりとなるさんあい祭りですが、経験していない職員が何と半数もいる事に軽く衝撃を受けました。気持ちも新たに皆様に楽しんでいただけるようなお祭りを開催します!6月4日には、是非お越しください。

(広報タスクチーム一同)